

**歳入** 194億8367万円

**歳出** 186億2189万円

平成22年度一般会計決算は、9月定例会において設置した決算特別委員会に付託され、9月7日、8日の2日間審査されました。

また、特別会計決算6議案については、所管の常任委員会に付託され、審査されました。

委員会での審査結果はいずれも「認定すべきもの」で、最終日の本会議での採決の結果、認定されました。

## 一 般 会 計

### 市 税

**Q** 市税収入の確保のための取り組みについて。

**A** **収税対策課長** 初期滞納者の削減が大きな課題なので、徴収強化月間を定め訪問徴収を行うとともに、休日納付相談窓口を設置した。

**Q** コンビニ収納の状況について。  
**A** **収税対策課長** 年々利用者が増え、利用件数は前年度に比べ、7・8割の増加である。

### 公民館使用料

**Q** 有料化後の公民館の利用状況と使用料の状況について。

**A** **富士見公民館長** 平成21年度と比べて、利用団体数で11団体の増加、利用件数で237件の増加。利用人数では約1万人の減少。22年度の使用料収入は、670万8210円である。

**Q** 公民館使用料を減免している団体の状況について。

**A** **富士見公民館長** 団体数の23・8割が減免の団体である。

### 国庫補助金

**Q** 地域活性化臨時交付金を使っ

ての事業内容について。

**A** **財政課長** 地域活性化臨時交付金のうち、経済危機対策臨時交付金は杉下小学校区の学童保育室の建設事業、小中学校体育館の耐震診断業務など、公共投資臨時交付金は道路舗装修繕、小中学校の地デジ移行対策経費など、きめ細かな臨時交付金は小中学校のトイレの洋式化、西中学校のグラウンド改修などに充てた。

### 太陽光発電余剰電気供給料金

**Q** 太陽光発電設備を設置している施設名と電気の売却の状況について。

**A** **富士見公民館長** 運動公園、中央図書館、西公民館に設置している。現在、電気を売却している施設は西公民館であり、電気料金が17・39割の削減になっている。

### 共通消耗品集中管理事業

**Q** 集中管理する消耗品の種類、配付する公共施設の範囲と効果について。

**A** **財政課長** 文具、紙製品、清掃用品、電気用品、印刷用消耗品などを学校、保育所などを含め公共施設全般に配付している。施設ごと、またはその都度発注していたのでは割高になるため、財政課で年間の単価契約を行って、発注管理している。

### 市内公共交通実証運行事業

**Q** 市内公共交通実証運行事業に要する経費、収入について。

**A** **総務人権推進課長** 市民バスは、運賃収入が1891万5496円で、東武バスウエストへの補償額は4859万5930円、乗合いタクシーは運賃収入が482万3400円で、乗合いタクシー15社への補償額は3060万6350円である。



市内を走る「つるワゴン」

### 地域防犯推進事業

**Q** 防犯灯の設置基数について。

**A** **安心安全推進課長** 23年3月31日現在で、4237基である。

### 地域ICT活用事業

**Q** タウンチップの今後の取り扱い

について。

**A** **市民協働推進課長** タウンチップ自体を改良して、市の職員がタウンチップを利用して新たな事業に取り組めるように環境整備をし、市全体でタウンチップを盛りあげていきたい。

**Q** まちづくりポイントの今後の活用方法について。

**A** **市民協働推進課長** 今まではポイントをただ発行してきただけだが、今後は公共施設の使用料等に還元していきたい。

### 敬老事業

**Q** 事業の内容と課題について。

**A** **高齢者福祉課長** 22年度は公民館など市内3か所で2日間、にわたって開催した。75歳以上の高齢者が招待の対象で、参加率は14・28割であった。対象者の数が年々増えていくこと、収容能力のある適切な会場に限りがあること、送迎の方法などが課題である。

### こども医療費助成事業

**Q** 医療機関での窓口払い撤廃による影響について。

**A** **こども支援課長** 10月1日から始まるが、年間約3000万円程度の医療費の増加を見込んでいる。